



SEASONAL INQUIRY 01 / SPRING

春を見つける 観察ノート

見つける。数える。比べる。言葉にする。身近な春を、子ども自身の発見から学びへつなげます。

答えを教える前に、見えたことを聞く。

この教材は、外での発見を紙に写し、もう一度確かめるためのノートです。全部を一度に終える必要はありません。

1. 見る 色、形、大きさ、数、場所を、子どもの言葉で確かめます。

2. 比べる 昨日と今日、日なたと日陰、同じものと違うものを比べます。

3. 残す 絵、印、短い言葉のうち、子どもが選んだ方法で記録します。

4. 戻る 数日後に同じ場所へ戻り、変わったことを一つ探します。

声かけの例

「何色？」で終わらず、「どこが前と違う？」「触らずに分かることは？」と尋ねます。答えが出ないときは、親も一緒に迷ってかまいません。

春の変化を、五つ見つける。

散歩やベランダで見つけたものを、名前が分からなくても記録できます。触れてよいかは大人が先に確かめます。



芽や葉



花や実



虫や鳥



光や影



人の暮らし

今日いちばん気になったもの

数える前に、まとまりを見つける。

花びら、葉、枝分かれなど、同じ形の繰り返しを探します。数が違って、数え方が説明できれば大切な発見です。

見つけた数



どう数えた？

まとまりの数



どう数えた？

前と違った数

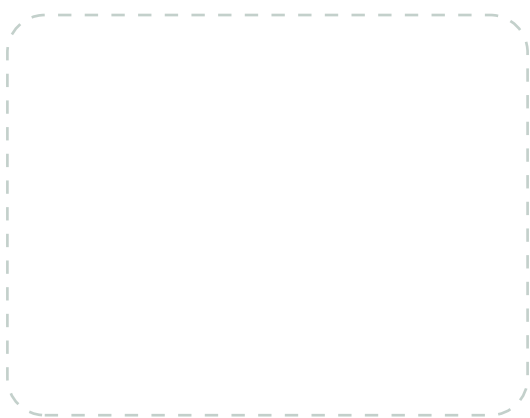


どう数えた？

同じところと、違うところ。

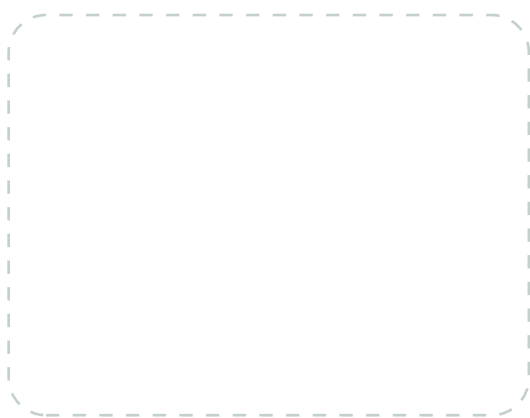
二つのものを比べます。名前や正解ではなく、見える特徴を言葉にします。

A



色・形・大きさ・手触り

B



色・形・大きさ・手触り

同じところ

違うところ

見つけたことを、言葉にする。

一語でも、絵でもかまいません。子どもの言葉を大人が言い換えず、そのまま残します。

見えたのは

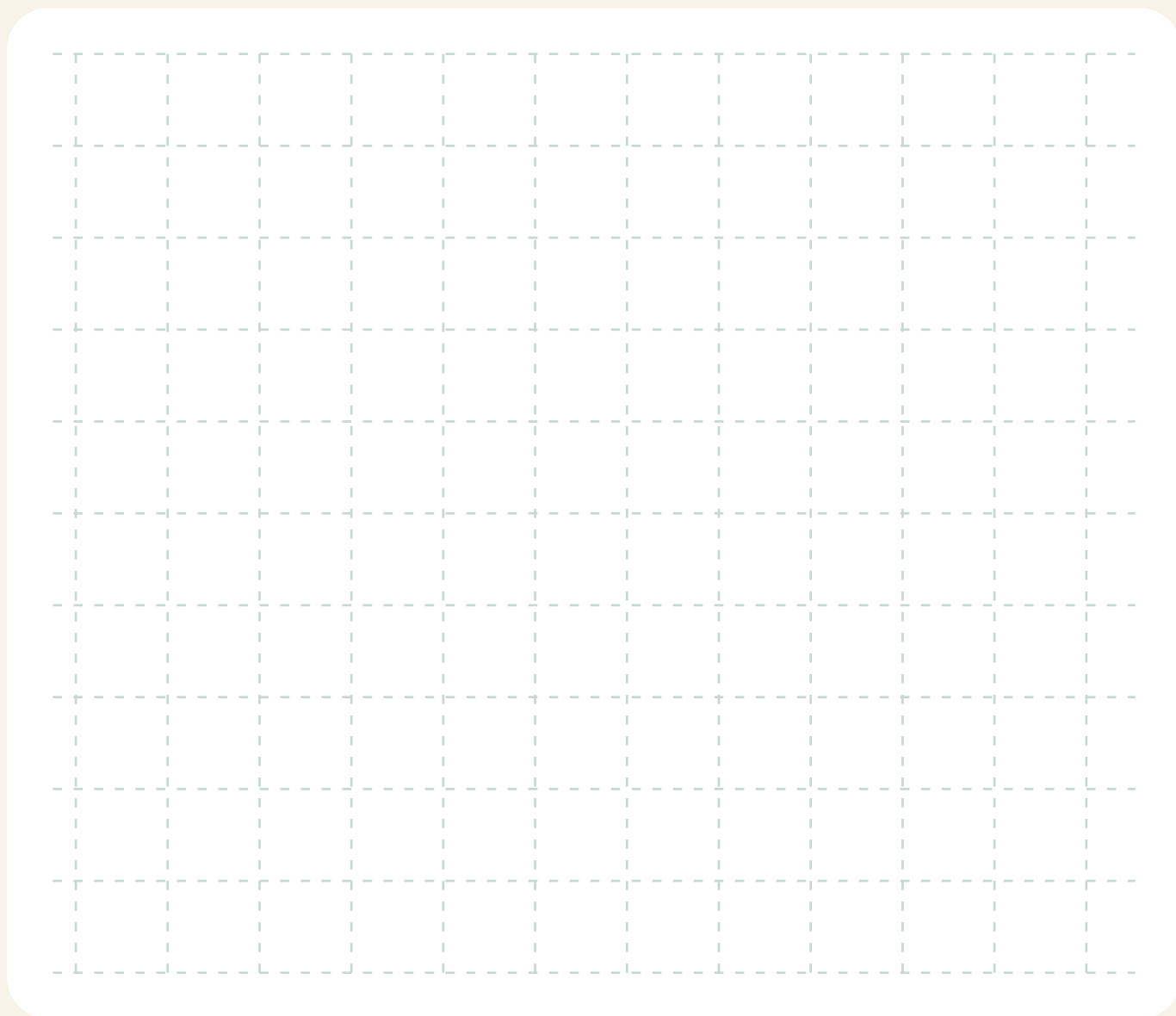
触らずに分かったのは

前と違ったのは

もっと知りたいのは

一つを選び、よく見て描く。

上手に描くことが目的ではありません。線の向き、重なり、左右の違いなど、見直した回数が観察の深さになります。



描いてから気づいたこと

同じ場所へ戻ると、春が動いている。

3日後、または1週間後に同じ場所を見ます。変化がなくても、それは観察結果です。

前に見た日

日付： _____

もう一度見た日

日付： _____

変わったこと

次に確かめたいこと
